

## 水産基盤整備の取組状況について

## ① 漁業就業者の減少・高齢化の進行

## ▼ 現状と課題

(干潮時の作業状況)



(冬季強風時の波浪状況)



## ▼ 取組状況



## 🏠 R3の取組

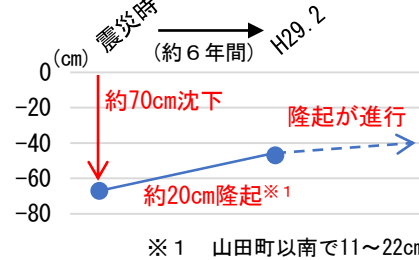
- ① 地域の実情に応じた施設整備に関するニーズ把握・計画づくり
- ② 県管理漁港(山田町以南)における隆起量把握のための測量調査

## ▶ 漁業就労環境改善等の環境整備

## [補足]地盤隆起の状況

1級水準点(大船渡市)の地盤変動(例)

&lt;国土地理院公表資料から作成&gt;

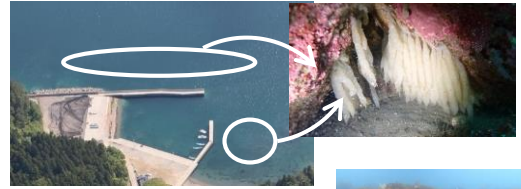


## ② 漁業・養殖業の生産量減少

## ▶ 水産資源の回復に資する漁場整備

## ▼ 取組状況

(ヤリイカ産卵場の実態調査[県内4箇所])



ウニ・アワビ増殖場の復旧・整備



## 🏠 R3の取組

- ① ヤリイカ試験礁設置、ミズダコ産卵実態調査
- ② 餌料状況調査等に基づくウニ・アワビ増殖場の計画づくり

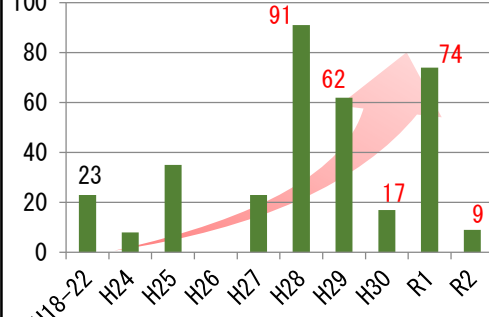
## ③ 高波や地震・津波等の災害の発生リスクの高まり

## ▶ ハード・ソフト一体的な取組

## ▼ 現状と課題

漁港関係被害の推移 (H18~R2)

(漁港)



⇒ 近年の漁港関係被害が増大傾向  
(震災前と比較し、多い年では約3~4倍、直近5年平均では2倍)

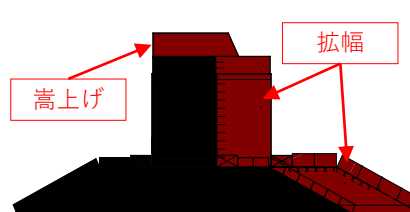
## ▼ 取組状況

(高波対策事例)



⇒ 設計に用いる波高の引き上げに対応した嵩上げ等

(地震・津波対策事例)



⇒ 想定される地震・津波に備えた耐震・耐津波強化

## [補足]大規模自然災害への備え

- ・宮城県沖地震の30年以内発生確率[R2:60%→R3:60~70%]  
<R3.1.13地震調査研究推進本部(文部科学省)公表>
- ・日本海溝・千島海溝沿いを震源とした地震による最大クラスの津波浸水想定 <R2.9.11内閣府公表>

## 🏠 R3の取組

- ① (ハード) 防波堤等の機能強化
- ② (ソフト) 津波襲来時における
  - ・漁船避難ルールづくりの支援
  - ・漁港からの避難誘導計画検討調査

ハード対策の着実な実施  
+ソフト対策の充実強化

漁港からの避難誘導(ソフト)



漁船避難ルールづくり(ソフト)